

2017年11月30日

日本郵便株式会社

**新たな輸入通関制度による UGX を利用した中国個人宛て配送サービスの開始**

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 横山 邦男／以下「日本郵便」）は、レントングループ<sup>（注1）</sup>と連携し、中国の越境 EC 向けにクーリエ（KJ）通関<sup>（注2）</sup>及び事前電子データによる通関（e-Express）を利用して「ゆうグローバルエクスプレス」（以下「UGX」）による中国個人宛ての配送サービスを下記のとおり開始します。

## 記

## 1 概要

日本発中国宛の越境 EC 市場は、2016 年は対前年比+30.3%<sup>（注3）</sup>と成長著しく、今後も更なる成長が見込まれています。こうした中で、従来の EMS を始めとする国際郵便サービスを使った発送のみならず、中国越境 EC 総合税による通関<sup>（注4）</sup>を用いた配送需要が拡大しており、先般、これを利用した UGX による配送サービスを開始しました。

一方、この中国越境 EC 総合税を利用するためには中国税関に対して事前に商品登録や、受取人の中華人民共和国居民身分証（以下、「中国個人 ID」）を含む輸入通関に必要な情報（以下、「三単情報」）の提出が必要ですが、越境 EC プラットフォームに出品していない越境 EC 事業者には三単情報の取得が容易ではないといった状況にあります。

この度、全ての越境 EC 事業者がより簡便に中国個人宛の配送サービスができるよう、事前の商品登録や三単情報の提出不要な以下の 2 つのサービスを提供します。

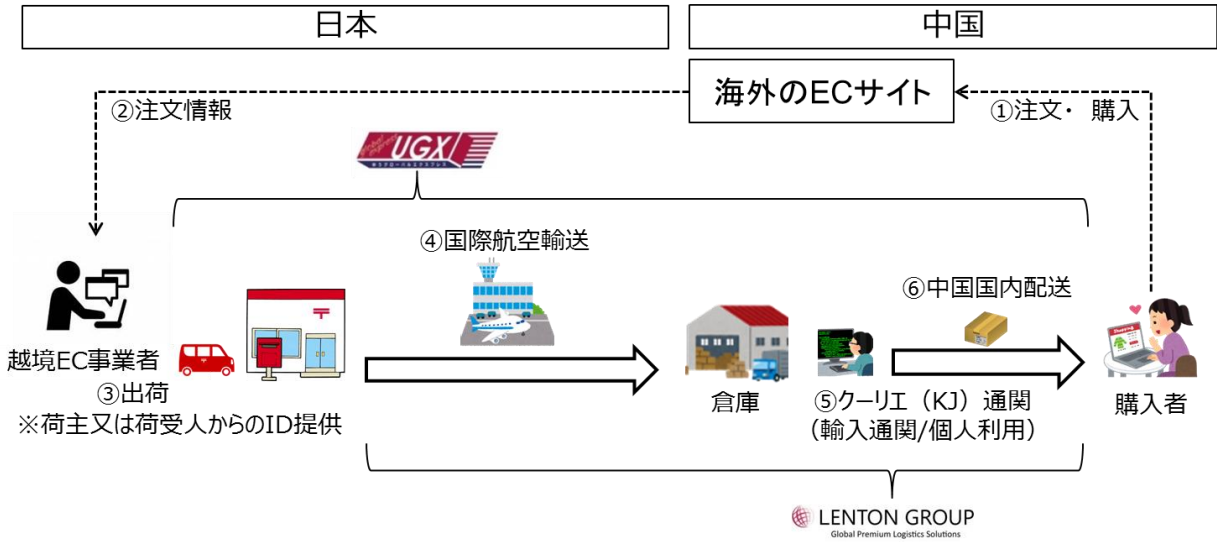
## (1) UGX・クーリエ（KJ）通関を利用した配送サービス

レントングループがクーリエ（KJ）通関業務を実施する個人宛て配送サービス（行郵税が適用）。荷主又は荷受人から中国個人 ID の提出が必要となります。

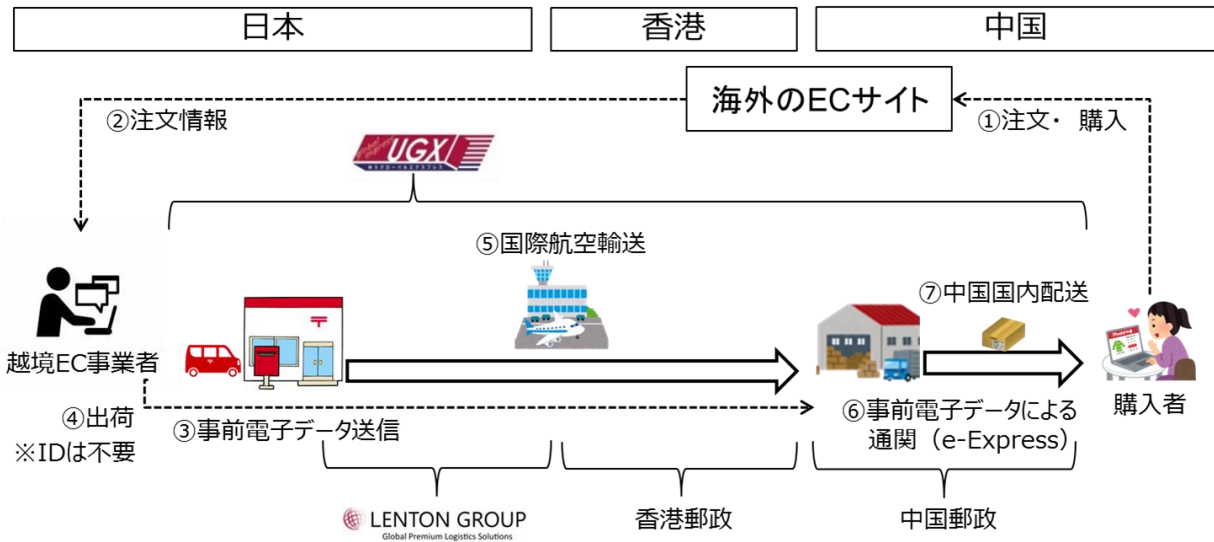
## (2) UGX・事前電子データによる通関（e-Express）を利用した配送サービス

レントングループ、中国郵政及び香港郵政が共同で開発した中国越境 EC 向け事前電子データによる通関を利用した個人宛て配送サービス（行郵税が適用）。中国個人 ID の提出は原則不要です。

<フロー図：UGX・クーリエ（KJ）通関サービス>



<フロー図：UGX・事前電子データによる通関（e-Express）サービス>



- 2 利用対象者  
越境 EC 事業者（個人を含む）
- 3 開始日  
2017 年 12 月 1 日（金）
- 4 中国個人宛て配送比較表  
[別紙参照](#)

【注釈】

- (注1) 2014年10月に日本郵便が出資した国際物流事業者で、レントングループの世界的なネットワークを活用し全国の郵便局を通じて、お客さまの海外ビジネスを力強くサポートするために、国際郵便サービスを補完する多彩な機能をプラスした国際宅配便サービス「ゆうグローバルエクスプレス (UGX)」を提供しています。
- (注2) クーリエ (KJ) 通関とは、貿易貨物としてではなく、個人貨物として許認可証等の提出が不要な簡易通関が適用され、国際郵便物に課される行郵税と同じ税率が適用される通関方法
- (注3) 出典：「平成28年度 我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」経済産業省
- (注4) 越境 EC 総合税による通関とは、2016年4月8日から適用された越境 EC の荷物に係る中国の輸入税制で、国際郵便物に課される行郵税よりも税率が低い通関方法

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社 お客様サービス相談センター

<電話番号>

0120-5931-55

携帯電話からご利用のお客さま

0570-046-666（通話料はお客さま負担です）

<ご案内時間>

平日 8:00～22:00

土・日・休日 9:00～22:00

※おかけ間違いのないようご注意ください。